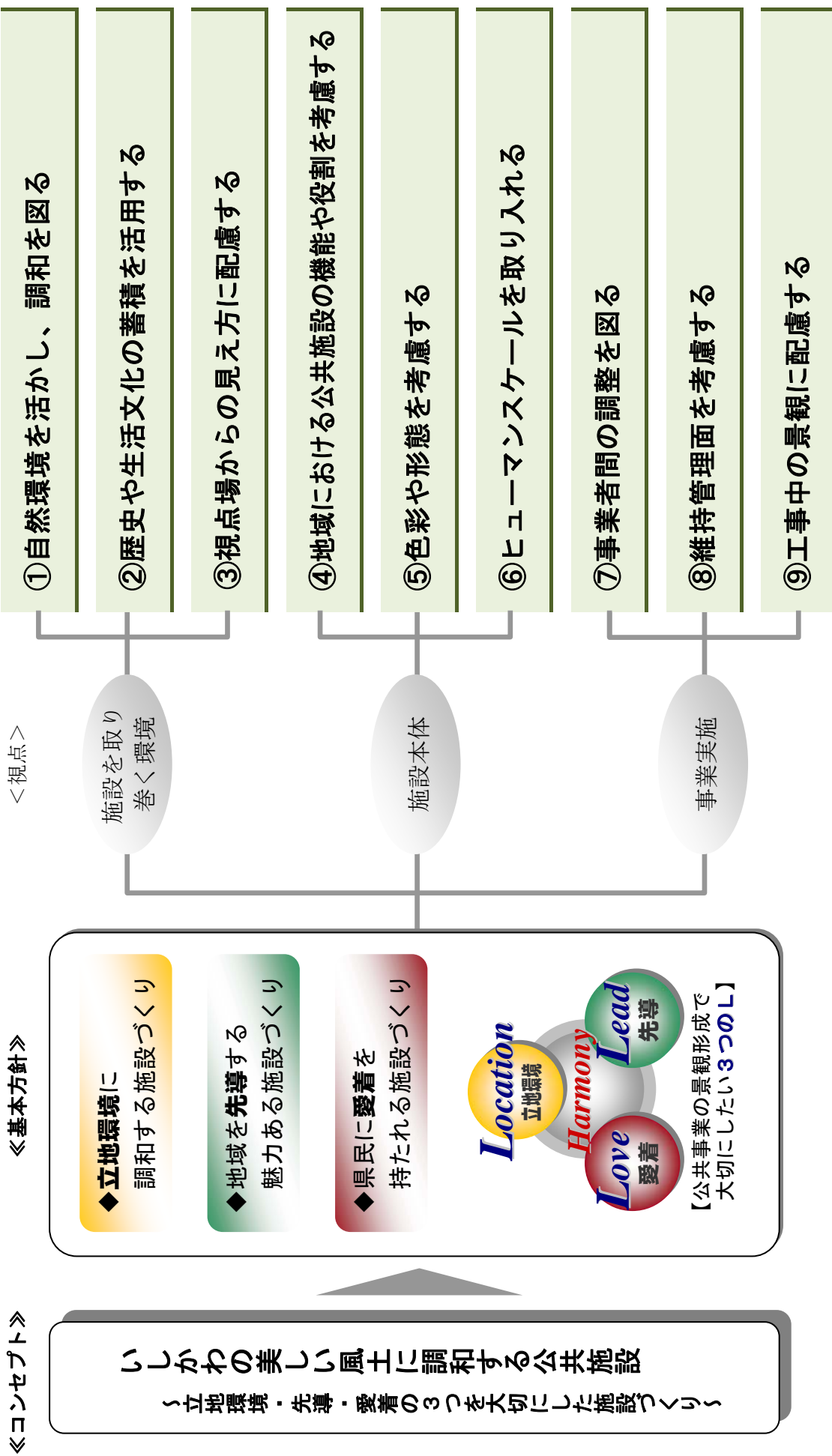


3 各施設共通の整備指針

(1) 共通の基本配慮事項

公共事業の景観形成のコンセプト・基本方針を踏まえ、各種公共事業において、共通して配慮すべき基本的な事項を以下のように定める。

《基本配慮事項》



《基本配慮事項》

①自然環境を活かし、調和を図る



- ・事業地の周辺環境や背景となる自然環境とのバランスに配慮して施設づくりを行う。
- ・海から山岳地までの変化に富んだ地形を活かし、地形の改変は最小限にとどめる。
- ・多様な生物が生息する自然環境を保全、創出する。
- ・広葉樹や草花の植栽、水辺空間の活用等により、四季折々の魅力が感じられる景観を創出し、潤いある地域環境の創造を先導する。
- ・緑化を推進することにより、環境負荷の軽減を図る。
- ・エコ・リサイクル製品や省エネ型の設備・構造を採用するなど、環境にやさしい施設づくりを目指す。



②歴史や生活文化の蓄積を活用する

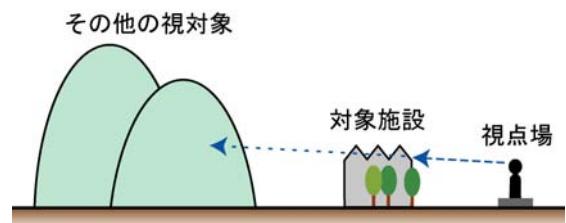


- ・地域の歴史的変遷、文化等を把握し、景観づくりに活かす。
- ・地域の将来動向などから地域の変化を予測する。
- ・地域の個性を表現する資源（景観資源、地場産材、工法・技術等）を活かす。ただし、過剰な演出とならないよう配慮する。
- ・地域住民の郷土への愛着、生活感覚等を尊重し、人々に親しまれる景観とする。
- ・歴史文化遺産などの地域の景観資源を保全・活用し、文化の創造、観光の推進を図る。
- ・建築物などの既存ストックを効果的に活用する。

③視点場からの見え方に配慮する



- ・視点場と対象施設、その他の視対象（山並み、景勝地、ランドマーク等）との関係を考慮し、眺望景観を阻害しないようにする。
- ・近景・中景・遠景、俯瞰景観や仰瞰景観など、様々な視点場からの見え方に配慮する。
- ・公共事業が率先して眺望景観に配慮した施設づくりを行うことにより、民間施設への啓発・波及を促進し、眺望景観の保全を図る。



④地域における公共施設の機能や役割を考慮する

Loca
-tion

Lead

Love

- ・施設の機能や役割、立地条件や利用特性を把握し、効果的な施設となるよう計画する。
- ・施設の本来の役割に加え、賑わい創出や地域活性化に資する施設を目指す。
- ・施設の機能や役割等から、景観上、その施設が「**図（主役）**」と「**地（脇役）**」のいずれであるかを判断する。「**図**」の場合は周辺に調和しつつ、地域を先導する景観デザインとし、「**地**」の場合は周辺との調和に重点を置いてデザインする。
- ・計画段階から**地域住民の意見**を取り入れる場を設けるなど、**県民ニーズの把握**に努める。



※「**図**」と「**地**」…物の見え方に関する基本的概念の一つ。「**図**」とは、全体の中で浮かび上がって見える部分を指し、「**地**」とは、その背景として知覚される部分を指す。

⑤色彩や形態を考慮する

Loca
-tion

Lead

Love

- ・色彩は、景観に与える影響が大きいため、周囲からの見え方に十分配慮する。
- ・**高彩度を避け、周辺環境（山間部、市街地等）と色彩や色調を合わせる**など、周囲の景観特性に調和するよう工夫する。
- ・**素材や方角、時間帯**などにより、色の見え方が変化することを考慮する。
- ・**ベースカラーやアクセントカラー**などの**配色、使用面積**を工夫する。
- ・建築物や構造物等の形態は、その施設が「**図（主役）**」と「**地（脇役）**」のいずれであるかによって、周辺との調和や先導性の演出のバランスを考慮してデザインする。



※色彩は、いしかわ景観総合計画における数値基準を参考にする（本ガイドライン p86 参照）。

⑥ヒューマンスケールを取り入れる

Loca
-tion

Love

- ・休憩施設や親水空間の整備、植栽等による潤いの演出、歩行空間の確保、バリアフリーなど、**利用者の利便性や快適性、スケール感、動線、目線**を考慮し、安全・安心に利用できる人にやさしい施設となるようデザインする。
- ・大規模な建築物や構造物等の計画にあたっては、周辺の街並みとの調和を図るとともに、**デザインの工夫、緑化**など、ヒューマンスケールを取り入れる。



※ヒューマンスケール…人間の感覚や動きに適合した、適切な空間の規模や物の大きさ。

⑦事業者間の調整を図る

Loca-
-tion

Lead

- ・事業者や事業時期の違いによって、隣接する同種の施設とデザインの不調和を招かないよう、組織間の連携を推進し、関連計画や周辺の事業を調べ、必要に応じて事業者間の調整を図る。
- ・道路と公共建築物など、隣接する施設はできる限り**事業相互で連携**し、エリアとして一体的に地域の景観を先導するような景観形成に努める。



⑧維持管理面を考慮する

Loca-
-tion

Lead

Love

- ・エイジング（材料の経年変化、樹木の成長等）や**維持管理のしやすさ**、ライフサイクルコスト、気候風土等を考慮し、長寿命化に対応した施設整備を行う。
- ・施設の劣化により良好な景観が損なわれないよう、計画的・効率的な維持管理を行う。
- ・県民参加を推進し、**地域住民が施設の活用や維持管理を行えるよう支援**する。また、計画段階から**地域住民等の意見を取り入れる場**を設け、維持管理に参画できる仕組みをつくるなど、**官民の協働と役割分担**による公共施設の管理・運用を目指す。



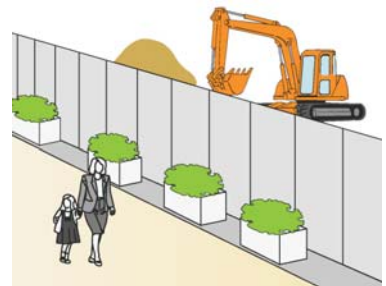
※ライフサイクルコスト…設計・建設・運営維持・修繕・解体まで、トータルでかかる費用（生涯費用）。

⑨工事中の景観に配慮する

Loca-
-tion

Love

- ・工事用看板、バリケード等は、デザインや色について**周辺との調和に配慮**するとともに、県民へのわかりやすい**情報提供**に努める。
- ・長期間の工事の際は、**仮囲いの設置**などにより、現場の繁雑さを感じさせないよう工夫する。
- ・仮囲いは、周辺の景観との調和に配慮してすっきりとしたデザインとし、通行者に**圧迫感を感じさせない**よう、できる限り**敷地境界から後退**させて設置し、**緑化**に努める。



(2) 共通要素の整備指針

各種公共事業における共通要素の整備指針を以下のように定める。

①法面

現況の地形に応じた構造及び形態とし、圧迫感を軽減させるよう努める。また、法面の覆工については、緑化による修景など周辺景観との調和に努める。

〈配慮事項〉

- 大規模な法面の場合には、法面の勾配はできる限り緩やかにとるなど、原地形になじませるよう努める。



現地形になじませるよう、緩やかな盛土勾配を形成（能登有料道路／穴水町）

- その地域の自然環境に配慮して、在来種等による植生を施すなど、周辺状況になじませるよう努める。



法面を緑化し、周辺景観との調和に配慮（能登有料道路／七尾市）



法面を緑化し、周辺景観との調和に配慮（山側環状／金沢市）

②擁壁

自然素材の利用等、意匠、色彩及び素材について工夫を行い、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- つる植物等による擁壁前面の植栽や、擁壁の表面処理等により周辺景観との調和を図り、圧迫感及び違和感の軽減に努める。



擁壁前面に植栽し、周辺景観との調和に配慮（山側環状／金沢市）



盛土部はテールアルメ擁壁を階段施工し、小段部へ植栽（一般県道芝原石引町線／金沢市）

- 特に景観に配慮すべき地域では、自然石・地場産素材の活用、植栽との併用等による周辺の環境と調和した形態及び素材に配慮する。

③護岸

生物の生息・繁殖環境と多様な景観の保全・創出に配慮した適切な工法の採用に努める。

《配慮事項》

- 自然環境に応じて、生物の生息に配慮した構造とするなど、生態系の保護に努める。



自然環境（瀬・淵など）を活かした河川整備（河原田川／輪島市）

- 自然とのふれあいができるような親水空間の創出に努める。



水際部にわんどや階段を整備し、水生生物、親水性に配慮（犀川／金沢市）

※わんど…川のよどみ（死水域）

- 自然素材や環境保全型ブロックの活用、景観に配慮した人工的な表面処理等により、周辺景観に調和した意匠・形態になるよう努める。



環境保全型ブロックを採用し、周辺環境との調和に配慮（大谷川／かほく市）



天然石の活用により、周辺景観との調和に配慮（宝立正院海岸／珠洲市）

- 埋立護岸については、周辺景観に圧迫感や違和感を与えないよう、形態をコンパクトにするなど配慮する。

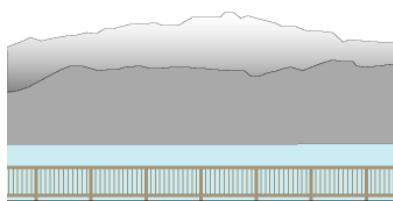
④防護柵

防護柵としての機能を確保しつつ、意匠、色彩及び素材の工夫により、周辺景観との調和に努める。

〈配慮事項〉

- 周辺環境との調和に配慮し、意匠はできる限りシンプルなものとする。

- 歩道用の転落防止柵は縦柵を基本とする。



縦柵の転落防止柵



縦柵の転落防止柵を設置
(一般県道芝原石引町線／金沢市)

- 色彩は国土交通省道路局監修の「景観に配慮した防護柵のガイドライン」により、ダークブラウン、グレーベージュ、ダークグレーの基本3色及びオフホワイトとし、材質は鋼製を基本とする。特に景観上の配慮が必要な地域については別途検討する。ただし、汎用性が高く、点検・補修が容易な構造を持つ材料を使用するなど、維持管理について十分に考慮する。



景観に配慮してダークブラウンのガードレールを採用
(主要地方道金沢井波線／金沢市)

- 近接して設置される他の施設との調和に努める。
- 中心市街地や観光地周辺では、人との親和性に配慮する。
- カーブが連続するなど、視線誘導が必要な箇所については、景観を阻害しないよう配慮して、反射シート等の設置を行う。

⑤舗装

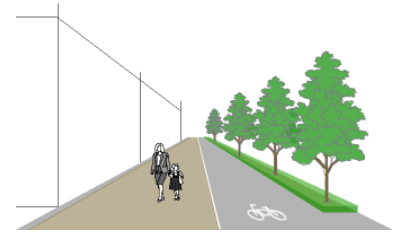
舗装としての性能及び安全で快適な走行性と歩行性を確保するとともに、視点位置によっては景観に大きく影響を与えるため、周辺景観に調和するような素材、色調の採用に努める。

＜配慮事項＞

- 車道舗装の色は、アスファルト舗装の場合は黒色を基本とし、彩色する場合は低彩度の自然色を採用して、ドライバーの運転環境と周辺環境に配慮する。
- 歩道舗装は、D I D区域についてはアスファルト舗装を基本とし、彩色する場合は低彩度のものとする。D I D区域以外においてはコンクリート舗装を基本とする。
- 自転車道や公園・緑地歩道、都市広場等の舗装に彩色する場合は、自然色に近いものとし、素材は維持管理がしやすいものとする。
- 中心市街地や歴史的街並みにおける事業など、地域特性を考慮する場合は、周辺環境に調和した意匠、形態となるよう素材、色調に配慮する。
(ただし、走行性を損なうような素材の使用は避け、過剰な演出とならないよう配慮する。)



黒色のアスファルト舗装を基本としつつ、両サイドにカラー舗装も採用（国道360号／小松市）



十分な幅員のある歩行者自転車道では、歩行者と自転車の走行空間を色で区分けするなどして、安全性にも配慮する

＜舗装材例＞

ブロック舗装	脱色アスファルト舗装	カラー舗装
 商店街のブロック舗装 (わいち通り／輪島市)	 歴史的な街並みを引き立てる舗装 (旧北国街道／金沢市)	 周囲の色調を考慮した舗装 (河原市用水管理道路／金沢市)
地場産材	廃材リサイクル景観品	石張り舗装
 瓦廃材を利用した遊歩道の舗装 (木場湯／小松市)	 ガラス廃材を利用した平板タイル (能登空港／輪島市)	 歴史的な街並みに合わせた石畳 (ひがし茶屋街／金沢市)

⑥ 標識及び公共広告物

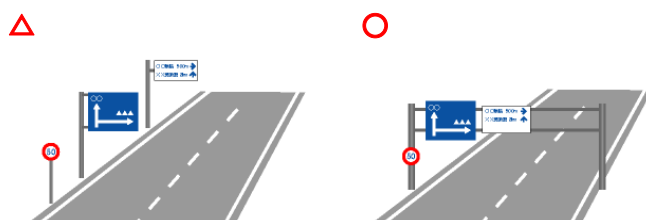
道路標識としての安全で利便性の高い機能を確認しつつ、設置数は最小限とし、表示すべき情報や掲示内容の整理整合、適切な場所への設置に努める。

また、良質なデザインや環境への配慮により、地域の良好な景観や環境づくりに資する広告物の設置に努める。

《配慮事項》

◎ 標識

- できる限り形態、意匠、高さを統一し、共架等により集約化に努める。
- 近接して設置される他の道路附属施設との調和に努める。



道路標識等はできる限り共架にすることが望ましい

- 特に景観上の配慮が必要な地域や道路では、視点と視対象を意識した配置とし、標識柱及び標識板の裏面を落ち着いた色彩とするなど、周辺景観との調和に努める。

◎ 公共広告物

- 過剰な広告や周辺景観から浮き立つ広告を避け、地域を特徴づけるデザインや素材などを用い、良好な景観形成に努める。



標識の情報量を必要最小限とし、分かりやすく配慮（国道157号／金沢市）



周辺景観と調和するよう標識の裏面を茶色に塗装
（主要地方道金沢湯涌福光線／金沢市）



案内板に九谷焼の陶板を活用
（小松市）



輪島塗をイメージしてデザイン
（輪島市）

- 基本的に控えめな表現を心がけ、その上で、マークやロゴ、素材など様々な要素を吟味し、見やすさ、分かりやすさなどすべての利用者に配慮して、良質かつ普遍的なデザインとなるよう工夫する。



広告が建築物と調和
(白山市)



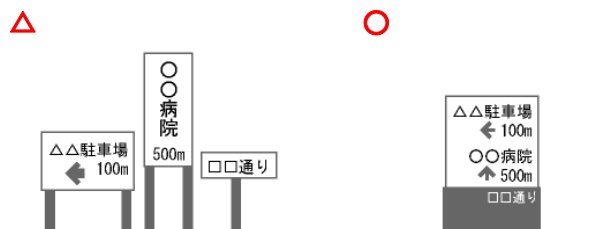
シンプルなデザイン
(七尾市)

- 自然素材の持つ風合いや質感などの特色を活かし、地域景観との調和、景観のアクセントとなるよう努める。



戸室石の原石を橋梁の名称表示に使用
(金沢市)

- サインを集合化し、すっきりとしたサイン表示を行うことにより、地域景観への配慮、省資源化に努める。



サインはできる限り集合化させることが望ましい



温泉街のドライバー向け旅館案内サインを集合化
(加賀市)

- 環境配慮型素材やリサイクル製品を使用するなど、再資源化や省資源化に努める。



再生木を使用 (金沢市)

※詳細は、「いしかわエコサインガイドライン」を参照のこと。

⑦無電柱化

歴史的・文化的地区や商店街・温泉街地区、空港や駅、玄関口となる幹線道路沿線など、特に景観上の配慮が必要な場所では、無電柱化することにより美しい街並みの形成に努める。

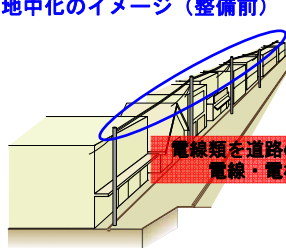
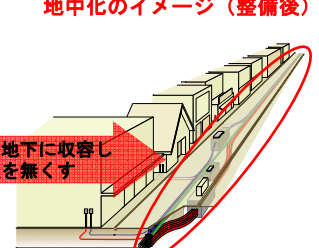


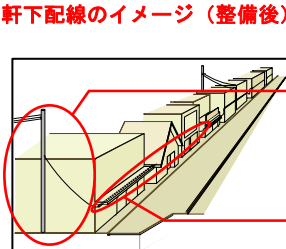


＜配慮事項＞

- 電柱や電線類は、景観を阻害するばかりでなく、通行の妨げともなり、地震・台風時には倒壊により甚大な被害を引き起こす可能性もあることから、特に景観上の配慮が必要な場所から、順次、無電柱化を進める。
- 地上機器の設置スペースの確保や家屋の連担状況、町割り、事業費、工事期間、沿道住民の合意形成など、対象地の実情に合わせて、適切な整備手法を選定する。

＜無電柱化の効果＞

- ◆良好な景観の創出
 - 市街地の街並みづくり
 - 歴史的な街並みづくり
 - 観光地の景観づくり など
- ◆安全・安心な道づくり
 - 通行の妨げとなっている電柱の撤去
- ◆防災対策
 - 地震・台風への備え

＜整備手法＞

<p>●地中化方式 単管路方式 トラフ・FA方式</p>	<p>地中化のイメージ（整備前）</p>  <p>地中化のイメージ（整備後）</p>  <p>電線類を道路の地下に收容し 電線・電柱を無くす</p>
<p>●裏配線方式 裏側道路配線 背割配線 脇道配線</p>	<p>裏配線のイメージ（整備前）</p>  <p>表通りに配線</p> <p>表通りを 無電柱化</p> <p>裏配線のイメージ（整備後）</p>  <p>裏通りに配線</p>
<p>●軒下配線方式 軒下配線 壁面配線</p>	<p>軒下配線のイメージ（整備後）</p>  <p>引込配線</p>  <p>軒下配線</p> 

画像出典：国土交通省 道路局

- 地上機器の設置にあたっては、設置者と協議の上、周辺景観に調和した意匠、色彩を採用するよう努める。また、小公園等の公共空間への集約や民地への設置等も検討するとともに、木製カバーや植栽で囲うなど、街並み景観の向上に努める。



景観阻害を和らげるため緑化
(都市計画道路金沢駅通り線／金沢市)



沿道に用地を取得し集中配置
(駅前別院通り商店街／金沢市)



沿線の駐輪場に集中配置
(横安江町商店街／金沢市)

- 地上機器の設置が難しい箇所については、設置者と協議の上、柱状式なども採用できるよう努める。



柱状式の地上機器を採用
(里見町／金沢市)

- 無電柱化に合わせ、道路空間の整備や沿道空間の修景整備の誘導を図ることにより、街並み全体の景観向上に努める。



整備前



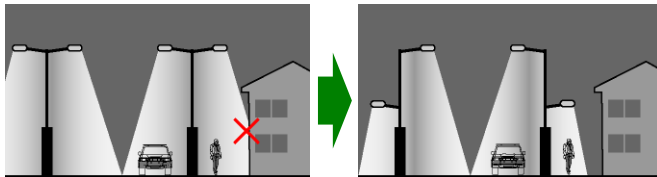
電線類の地中化により、街並み景観が向上し、歩行者が増加
(都市計画道路温泉中央南線／加賀市)

⑧照明施設

周辺景観との調和を図るとともに、地域の状況に応じた照明方法の工夫や、地域特性を活かした意匠及び色彩となるよう努める。

《配慮事項》

- 器具及びポールの形態・意匠・色彩等は、地域特性を踏まえた上で、できる限りシンプルかつ統一感のあるものとする。
- 近接して設置される他の施設（防護柵、標識柱等）との調和に努める。
- 周辺施設との位置関係を考慮し、乱雑にならないよう集約して配置する。ただし、適切な輝度を確保する。



光の届く範囲を考慮して、照明の配置を設定する

- 汎用性が高く、点検・補修が容易な構造を持つ材料を使用するなど、維持管理について十分考慮する。
- 周辺環境や夜間景観を考慮し、ライトアップ等、必要に応じ地域の個性演出について検討する。



石川県木であるアテの木のパネルにアツビの殻を象嵌細工で埋め込み地域特性を演出
(都市計画道路河井町横地線／輪島市)



県を代表する観光名所の石川門をライトアップ (金沢城公園／金沢市)

⑨緑化

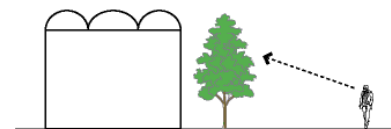
緑化の目的を明確にし、地域の自然や文化の特性に配慮したうえで、周辺景観に調和した適正な樹種を選択、配植デザイン、管理計画の策定・実施等に努める。

〈配慮事項〉

- 緑化の目的を明確にする。

〈目的例〉

- ・環境の維持、改善（気温や日照の緩和など）
 - ・防災（延焼防止、防風、法面保護、治山など）
 - ・修景（視線誘導、街並みのアクセント、人工物の景観緩和など）
 - ・健康・レクリエーション（散策、休息、運動、自然学習など）
 - ・生物の生息環境保全
- など
（景観や施設の機能上、緑化しないという選択もあり得る。）



植栽による遮蔽で人工物の景観を緩和

- 計画に先立っては、自然（気象等）、土壌、周辺の既存植生、地域の文化など、対象地の状況を把握する。



連続性のある街路樹

- 目的と対象地の状況に応じた適正な樹種を選択、配植デザイン（連続、リズム、整形、不整形等）を行う。

（特に、自然環境の保全が必要な区域の周辺では、本来の植生に影響を及ぼす恐れがないよう、在来種の使用に努める。）



表情が豊かな公園の樹木

- 地域の景観特性を発揮するため、既存植生の保全・活用に努める。

- 四季の移ろいによる変化、生長による変化など、時間的な景観変化の演出等に努める。



整然と並んだアメリカフウの紅葉が秋を演出（中央公園／金沢市）

- 樹木等の生長を見越した植栽計画の立案、管理の実施に努める。